



100%石油由来品と比べCO₂排出量が約17%削減
有料レジ袋を環境に配慮した「バイオマスプラスチック」原料に変更！
 ～フジ、ユニー、イズミヤ有料レジ袋を共同企画～

株式会社フジ(本社:愛媛県松山市、代表取締役社長:尾崎英雄)は、有料レジ袋を環境にやさしい「バイオマスプラスチック」を配合したものに変更しますので、その概要についてお知らせします。

フジでは、マイバック持参運動を積極的に行なっており、行政および消費者団体のご協力のもと、広島県(福山市除く)、山口県と一部地域において、レジ袋の無料配布中止を実施しております。このたびは、その地域で配布している有料レジ袋を、植物由来のバイオマスプラスチックを25%使用したものに変わり、CO₂排出量の削減に努めます。また、新しくなるレジ袋は ユニー株式会社(本社:愛知県稲沢市)およびイズミヤ株式会社(本社:大阪府大阪市)の有料レジ袋にも採用されます。フジは、これからも地域の皆さまと一緒に循環型社会づくりに取り組んでまいります。

【新有料レジ袋規格】

- 仕様:サトウキビ原料のバイオマスプラスチック(バイオマスポリエチレン)25%使用
 ※バイオマスマークの認定取得製品(一般社団法人日本有機資源協会認定)
 サイズ:横480×縦570mm 厚さ:23μ 重量:10.4g/枚
- 導入時期 2012年6月中旬より順次
- 対象店舗 33店舗 (広島県16店舗、山口県9店舗、愛媛県、高知県の一部店舗8店舗)
 ユニー、イズミヤ無料配布中止店舗
- 販売価格 5円
- CO₂削減効果
 - ① 従来品(100%石油由来)に比べて17%削減
 - ② フジ 39.2t/年 (福助工業株式会社試算)
 ※原料、製造から焼却までの各家庭から排出されるCO₂量から合算
- レジ袋のデザイン



以上

